

元城小学校跡地の発掘調査成果について

1 発掘の目的

浜松城公園長期整備構想（平成26年2月）に基づき、元城小学校跡地の活用に係る情報を得るため、地下に埋もれた浜松城の遺構を確認することを目的とする。

2 経緯

- 令和元年度 遺構残存状況の確認
- 令和2年度 確認された遺構の詳細調査
- 令和3年度 確認遺構の補足調査

3 主な成果

- (1) 本丸を囲む石垣の詳細把握
 - (2) 二の丸の建物基礎（御殿基礎か）の詳細把握
- 令和2年度までに確認した遺構の詳細を明らかにした。

4 今後の予定

- (1) 議会向け現地説明会 9月1日（水）
- (2) 報道公開 9月中旬
- (3) 中区協議会 9月下旬
- (4) 市民向け現地説明会 開催時期、手法については検討中



南からみた調査対象地イメージ図

令和3年度 元城小学校跡地における発掘調査成果

期 間 令和3年6月21日～令和4年1月（予定）

調査面積 約1,180㎡

調査主体 浜松市（主管：文化財課）

目 的 浜松城公園長期整備構想に係る内容確認

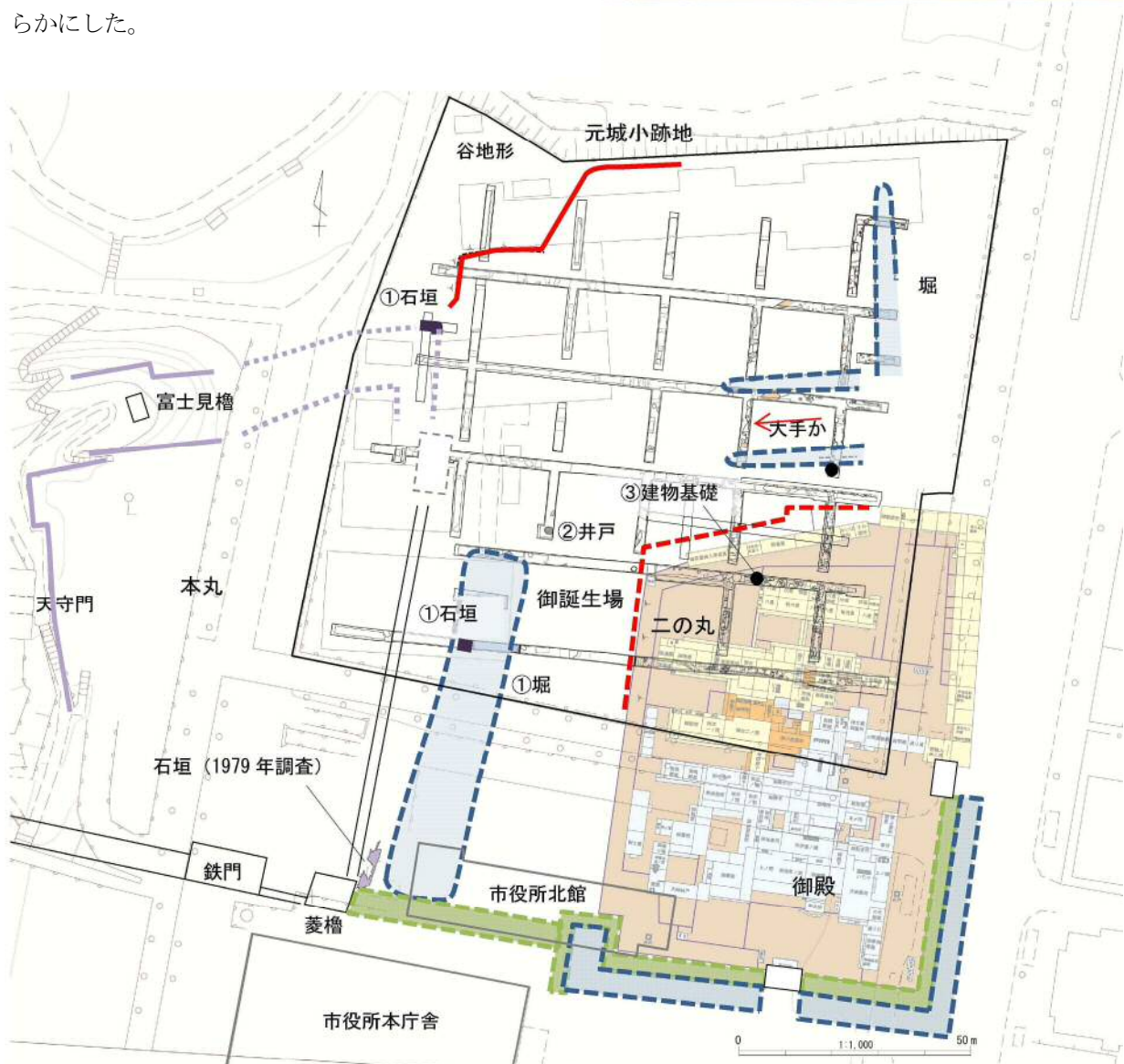
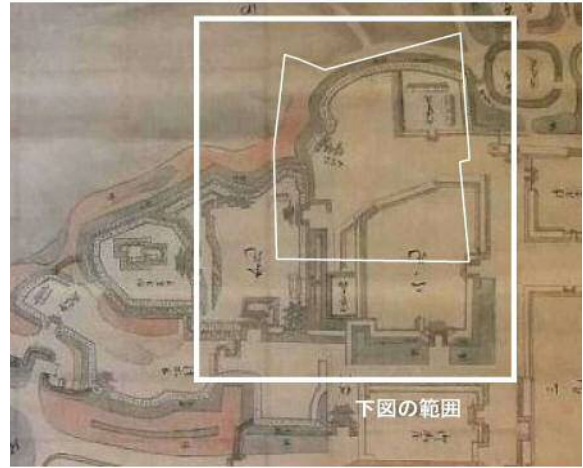
調査成果（既往の調査を含む）

①本丸（堀と石垣）

②御誕生場（井戸など）

③二の丸（建物基礎など）

令和元年度からの調査で、戦国時代から江戸時代に至る浜松城に関連する遺構を広範囲で確認している。令和3年度は本丸の石垣と二の丸の建物基礎の詳細を明らかにした。



浜松城の構造と元城小跡地の調査成果